

一般質問



本多 健信 議員 (自・未)

### 駅舎等のセーフティ化について

①1日の乗降客数が20万人を超える大崎、五反田、目黒、大井町各駅の安全性をより高めていく方が必要だと思いが、駅舎や駅周辺において混雑時のトラブルを防ぐために何らかの工夫が必要では。①ホームのスペースや通路の確保等、駅舎のセーフティ化への取り組みは。②駅周辺の信号機の設定等ハード面における安全性向上への取り組みは。③都市環境部長 ④おたがいさま運動に取り組み、相手を思いやる気持ちについて啓発を図っている。⑤ホーム柵等の転落防止対策や、階段やエスカレーター等の混雑緩和に必要な設備の整備を鉄道事業者へ働きかけている。⑥信号機の設定を警察に要請するほか、駅周辺の安全確保のため必要な対策を実施していく。

①産学官連携強化について  
①これまで品川シエルトターの開発やしながわCSR推進

協議会等の様々な産学官連携に取り組んできたが、今後の展望は。  
区長 ①産学官の連携をより有機的に深め、区内企業の活性化や若年層の定住促進等につながるよう進めていく。

旧東京区政会館本館の整備について  
①旧東京区政会館本館の改築に向けた準備の一環として特別区職員研修所が一時移転するが、研修の量や内容はどのようになるのか。②移転先として、品川区のS.H.I.P等の施設は検討題材に上がらなかったのか。③移転先として秋葉原センタープレイスビルを選定した理由は。④移転期間を6年3か月間と設定した根拠は。⑤賃料、光熱水費等の費用負担の考え方は。⑥旧東京区政会館本館の解体工事について、実施設計に980万円が計上されているが、詳細は。総務部長 ①専門研修や職層研修等があり、25年度の開催回数は21回で、今後もほぼ同様の傾向になる。②移転先は中央部6区を中心に検討したと聞いている。③区や国の施設等の活用を検討したが適地が得られなかったため、交通の利便性や経済性等を比較し候補としたと聞いている。④28年度から解体工事を実施するが、東京オリンピック・パラリンピック等による建設費の高騰や人材不足を勘案し、32年度の着工予定となっている。⑤特別区ではこれまで同様光熱水費等を負担するが、新たな負担金等の負担はないと聞いている。⑥実施設計の内容は、近隣に配慮した解体の方法や騒音対策等を踏まえたものと聞いている。

選挙について  
①選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が可決・成立し、更に主権者教育が大事になると考えるが、出前授業等の取り組みは。②選挙子ども議会の開催を。③選挙公報について電子データでの入稿を検討すべきでは。④配布日程は。⑤ポステイングができない建物に対する対応は。⑥投票所での写真撮影について、どのような決まりがあるのか。⑦投票済証明書の意義と発行部数等は。⑧子ども連れの投票にどのように対応してきたのか。⑨人が多く集まる施設に期日前投票所を設置しては。⑩投票率の目標値を定め、投票率向上に取り組み必要があるのでは。⑪商店街等と連携し、投票済証明書を活用した選挙割引キャンペーンの導入を。⑫インターネットを活用した広報は若年層に効果的と考えるが、所見を。選挙管理委員会委員長 ①区内学校でも取り組みが広がるよう努めていく。②77法律に文書で申請すると定められている。③平成27年の区議会議員選挙は3日以内で全戸配布を完了した。④選挙管理委員会が個別に対応している。⑤写真撮影は禁止しており、その旨を投票所内で掲示している。⑥選挙人が投票した証明として、選挙ごとに約400名



石田 しょうた 議員 (民・無)

発信することが重要だ。⑤「繰り返し訪れて楽しいまちしながわ」をコンセプトにした観光施策を推進していく。

福祉部長 ①77生活保護に至る手前の方の自立の促進を図ることだ。②生活困窮者自立支援制度運営協議会を設置し、関係17課で情報共有等に取り組んでいる。③ハローワーク、社会福祉協議会等だ。④民生委員等に暮らし・しごと応援センターへの案内を依頼している。⑤就労に関する相談支援等を実施し、生活困窮状態からの早期自立を図るものだ。⑥生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の両制度で対応が可能なよう体制を整備しており、就労支援については一体的に運用している。⑦11名体制だ。⑧27年4月から10月までの相談件数は1千232件だ。⑨就労以前に必要な生活習慣の形成や社会的能力の習得等を図るものだ。⑩延べ126件だ。

①旧東京区政会館本館の改築に向けた準備の一環として特別区職員研修所が一時移転するが、研修の量や内容はどのようになるのか。②移転先として、品川区のS.H.I.P等の施設は検討題材に上がらなかったのか。③移転先として秋葉原センタープレイスビルを選定した理由は。④移転期間を6年3か月間と設定した根拠は。⑤賃料、光熱水費等の費用負担の考え方は。⑥旧東京区政会館本館の解体工事について、実施設計に980万円が計上されているが、詳細は。総務部長 ①専門研修や職層研修等があり、25年度の開催回数は21回で、今後もほぼ同様の傾向になる。②移転先は中央部6区を中心に検討したと聞いている。③区や国の施設等の活用を検討したが適地が得られなかったため、交通の利便性や経済性等を比較し候補としたと聞いている。④28年度から解体工事を実施するが、東京オリンピック・パラリンピック等による建設費の高騰や人材不足を勘案し、32年度の着工予定となっている。⑤特別区ではこれまで同様光熱水費等を負担するが、新たな負担金等の負担はないと聞いている。⑥実施設計の内容は、近隣に配慮した解体の方法や騒音対策等を踏まえたものと聞いている。

選挙について  
①選挙権年齢を18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が可決・成立し、更に主権者教育が大事になると考えるが、出前授業等の取り組みは。②選挙子ども議会の開催を。③選挙公報について電子データでの入稿を検討すべきでは。④配布日程は。⑤ポステイングができない建物に対する対応は。⑥投票所での写真撮影について、どのような決まりがあるのか。⑦投票済証明書の意義と発行部数等は。⑧子ども連れの投票にどのように対応してきたのか。⑨人が多く集まる施設に期日前投票所を設置しては。⑩投票率の目標値を定め、投票率向上に取り組み必要があるのでは。⑪商店街等と連携し、投票済証明書を活用した選挙割引キャンペーンの導入を。⑫インターネットを活用した広報は若年層に効果的と考えるが、所見を。選挙管理委員会委員長 ①区内学校でも取り組みが広がるよう努めていく。②77法律に文書で申請すると定められている。③平成27年の区議会議員選挙は3日以内で全戸配布を完了した。④選挙管理委員会が個別に対応している。⑤写真撮影は禁止しており、その旨を投票所内で掲示している。⑥選挙人が投票した証明として、選挙ごとに約400名

観光施策について  
①お客様や商店街にとってメリットのある免税一括カウンターの設置を。②外国の方に品川区へ来てもらうためのアプローチとして、SNS等のインターネットの活用を。③区内のWiFi環境整備の現状と今後の取り組みは。④新たな観光スポットの設置について、見解は。⑤区の観光における方向性は。区長 ①商店街連合会などの意見も伺いながら、検討していく。②タイのフェイスブック利用者に向けた情報発信事業を行うこととした。③大井町駅前へ続き、公園への整備の拡充に取り組む。④魅力ある既存の観光資源を磨き、



大井町駅前イルミネーション